

福島  
の

木  
林

里

川

海

の今

～放射能問題からウナギ・カレイの新発見まで～

参加費無料

どなたでもご参加  
いただけます



福島大学  
×  
京都大学

2020年

1月24日(金)

10:00～16:30

京都大学百周年時計台記念館  
国際交流ホールI

主催 福島大学環境放射能研究所

共催 京都大学フィールド科学教育研究センター  
京都大学大学院情報学研究科



京都大学



京都大学フィールド科学教育研究センター  
Field Science Education and Research Center, Kyoto University

福島での共同研究成果を報告します

午前の部(10:00～12:15)

- ◇ 農業環境における放射性セシウム・ストロンチウムと作物摂取による被ばく線量 **〈塚田祥文〉**
- ◇ 森林生態系の放射能汚染の現状と課題 **〈大手信人〉**
- ◇ 野生動物の放射性セシウム汚染とその影響 **〈石庭寛子〉**
- ◇ 海洋(と河川)環境における放射性セシウムの推移と現状 **〈高田兵衛〉**

午後の部(13:30～16:30)

- ◇ 海水魚と淡水魚の放射能汚染と漁業復興の現状と課題 **〈和田敏裕〉**
- ◇ 水圏生物の行動を明らかにするバイオロギング技術 **〈荒井修亮〉**
- ◇ 阿武隈川の新たな危機:チャンネルキャットフィッシュの行動 **〈三田村啓理〉**
- ◇ 松川浦におけるニホンウナギの生態 **〈山下 洋〉**
- ◇ 夜に泳いで産卵場へ:幻のホシガレイの行動特性 **〈野田琢嗣〉**

## 公開シンポジウム

福島大学創立70周年記念事業・  
福島大学環境放射能研究所研究活動懇談会

# 福島 の 森 里 川 海 の 今

これまで福島大学と京都大学が共同で行ってきた研究を中心に、被災した福島県の森・里・川・海の現状についてお話しします。

放射能汚染の問題に加えて、新技術を用いた魚類生態の新発見にも焦点を当て、様々な課題が残された福島の実況だけでなく、福島大学と京都大学との連携で生まれた福島発の科学的知見について紹介します。

## PROGRAM

10:00 - 10:05	開会のあいさつ	
10:05 - 10:10	趣旨説明	
10:10 - 10:35	農業環境における放射性セシウム・ストロンチウムと作物摂取による被ばく線量	塚田 祥文 福島大学環境放射能研究所 所長
10:35 - 11:00	森林生態系の放射能汚染の現状と課題	大手 信人 京都大学大学院情報学研究科 教授
11:00 - 11:10	休憩	
11:10 - 11:35	野生動物の放射性セシウム汚染とその影響	石庭 寛子 福島大学環境放射能研究所 特任助教
11:35 - 12:00	海洋（と河川）環境における放射性セシウムの推移と現状	高田 兵衛 福島大学環境放射能研究所 特任准教授
12:00 - 12:15	午前中の講演内容への質疑応答	
12:15 - 13:30	お昼休憩	
13:30 - 13:55	海水魚と淡水魚の放射能汚染と漁業復興の現状と課題	和田 敏裕 福島大学環境放射能研究所 准教授
13:55 - 14:20	水圏生物の行動を明らかにするバイオロギング技術	荒井 修亮 京都大学フィールド科学教育研究センター 教授
14:20 - 14:45	阿武隈川の新たな危機：チャンネルキャットフィッシュの行動	三田村 啓理 京都大学大学院情報学研究科 准教授
14:45 - 14:55	休憩	
14:55 - 15:20	松川浦におけるニホンウナギの生態	山下 洋 京都大学フィールド科学教育研究センター 教授
15:20 - 15:45	夜に泳いで産卵場へ：幻のホシガレイの行動特性	野田 琢嗣 京都大学大学院情報学研究科 研究員
15:50 - 16:30	総合討論	
16:30	閉会のあいさつ	

## 会場

京都大学百周年時計台記念館  
国際交流ホールI  
(京都大学 吉田キャンパス本部構内)  
〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町

MAPはこちら



## 問合せ

福島大学環境放射能研究所  
TEL: 024-504-2114 FAX: 024-503-2921  
Email: ier@adb.fukushima-u.ac.jp  
URL: <http://www.ier.fukushima-u.ac.jp/>



京都駅 → 京都市営地下鉄烏丸線 国際会館行(10分) → 今出川駅  
→ 京都市営バス(15分) → 「百万遍」または「京大正門前」